

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
代行装置学実習 I	1年次	必修	実習	1 単位（45時間）	外山 竹弥 ※
授 業 概 要					
呼吸・循環・代謝に関わる生体機能代行装置及び周辺機器について、基礎的な構造や動作原理を理解する。また、安全管理のための基礎的な保守点検ができるよう、具体的な基本手技などについて指導する。生体機能代行装置の基本操作の実習を中心とし、時に各種モデル等も用いて機器についての理解を深める。					
到 達 目 標					
1) 生体機能代行装置について、基本的な構造・動作原理について説明できる。 2) 生体機能代行装置について、基本的な準備、操作ができる。 3) 生体機能代行装置について、基本的な安全対策、保守点検ができる。 4) 周辺医用機器の取り扱いができる。					
回	学 習 内 容				担当教員
1	呼吸療法技術(1)	呼吸回路組み立て			野口 裕幸 ※
2	呼吸療法技術(2)	換気モードの概要 (1)			〃
3	呼吸療法技術(3)	換気モードの概要 (2)			〃
4	呼吸療法技術(4)	代表的な換気モード (1)			相田 武則 ※
5~7	呼吸療法技術(5)	呼吸器操作実習、モニタリング			五十嵐雄一 ※
8	体外循環療法技術(1)	ローラーポンプ、遠心ポンプ操作			深町 直之 ※
9	体外循環療法技術(2)	人工肺、人工心肺回路			〃
10~11	体外循環療法技術(3)	人工心肺回路組み立て			〃
12~13	体外循環療法技術(4)	人工心肺操作実習			相田 武則 ※
14~15	血液浄化療法技術(1)	透析液作成実習			外山 竹弥 ※
16~17	血液浄化療法技術(2)	血液回路組み立て			〃
18~19	血液浄化療法技術(3)	血液回路操作実習			〃
20~21	血液浄化療法技術(4)	患者監視装置実習			〃
22~23	血液浄化療法技術(5)	血液浄化療法患者体験実習			〃
学 習 方 法					
臨床工学技士の業務に必要な不可欠な専門領域実習の基礎となります。しっかりと理解し操作すること。					
評 価 方 法					
実技（50％）、レポート（50％）により評価する。					
先 修 科 目					
教科書、参考書					
〔教科書〕					
臨床工学講座 生体機能代行装置学		体外循環装置第2版	見目 恭一 他	医歯薬出版	
MEの基礎知識と安全管理		改訂第6版	日本生体医工学会	南江堂	
配布資料					